



## 同時に複数のイベント

昨年末 12 月 7 日、安中市内の 3 か所、安中文化センター、松井田細野ふるさとセンター、まついだ森の家を会場にしていくつかのイベントが同時に進行する催しが開かれました。主催者は「ちびちびプロジェクト」。代表の堀越美紀さんは「障害があってもなくてもともに手をつなぎ、優しいまちを作る活動をしております。特に発達障害のある方々を中心に、彼らに光を当てながら、地域の理解を深めていけるよう努めております」とパンフレットで語っています。昨年に続き二回目。安中市も共催者として支援しています。

## 安中市文化センターで演劇を観る

演劇「トランス」は、自分が天皇であるという「妄想」をきっかけに再会した高校時代の同級生三人が緊張感を保ちながらてんぽよくセリフを回していく。妄想に取りつかれたり覚めたりを繰り返す展開で笑いを誘い、登場する精神科医や患者の精神が、異常と正常の世界の境目を超えて行ったり来たりしていることに観客は戸惑います。やがて「わたしの愛する人は 精神を病んでいます。ですが 私はとても幸福です」というナレーションで幕を閉じます。支援する側に多くの示唆を与えましたが、発達障害への理解を深める意味では、支援する側とされる側の違いを超越する結末のほうがうけ入れやすいのではないかなと思いました。主演の一人はアスペルガー障害を持つ青年。

## チャリティーイベント

安中市民センターのロビーでは、障がい者の授産施設が作った食べ物やアクセサリが販売されていました。野菜、まんじゅう、木工製品、豚汁、焼きそば、焼き鳥、おにぎりなど。売り子の元気な声が飛び交い、プロジェクトのすそ野の広さを感じました。

## さまざまな組織が参加している





プロジェクトに参加する団体はさまざま。子どもの野外活動を企画する NPO 法人「ひねもす」は、ラフティング、洞くつ探検、雪遊びなど、多彩な体験を通して自然を楽しませてくれます。対象は障害者に限りません。「カラフルかんら」「カラフルまついだ」は特別支援学校に通う小中高校生のための放課後等デイサービス。生活スキルや人とのかかわり方の指導もある。学校の休業日にも利用できる。保護者の強い要望に応えるかたちで開設されたそうです。甘楽町の i i t o k o 事業は母親支援が中心。

### i i t o k o 事業内容

- 障がいのあるお子さんの子育てについての困っていることなど、話のできる場を設け、楽しめる子育てへの活動に取り組んでいます。
- 各地で障がいについての勉強会を行うことにより、育てやすい地域、わかりやすい行政、つながりあえる学校への啓発活動に取り組んでいます。(いいとこ塾)



お母さんの居場所 (吉井町本郷 452-2) に?

- ♥ 発達何でも相談 (随時)  
子育てについて困ったなあ... どうしよう...  
お母さんの SOS をきかせてください。 
- ♥ ミニ勉強会 & 情報交換 
- ♥ 癒しのランチ 毎月第2水曜 AM 10:30~  
心から Happy になれる食事を作って食べよう!!  
(託児無料) 
- ♥ ワークショップ  
寄せ植え、ヨガ、アロマセラピー、etc.
- ♥ 託児  
お母さんの突然の困った! 時に御利用下さい。
- ♥ i i t o k o カット   
お子さんのヘアカットの おまかせください。

《甘楽町の i i t o k o 事業のチラシから》

## いっしょに生きる

障害者への法的支援は少しずつ拡充されつつありますがまだまだお寒い部分もあります。就労の課題はとても大きい。しかし、会場で多くの若者がこのプロジェクトに参加している姿を見て心が温かくなりました。いっしょに生きている! みいんなひかっている!